

頭蓋仙骨療法マニュアル

【頭蓋仙骨療法の目的】

- 1 体液の質改善:脳脊髄液、血液の循環、ホルモン分泌
- 2 エネルギーの循環:自然治癒力の促進

【頭蓋のアプローチ】

- 1 脳脊髄液の産出と吸収促進
- 2 頭蓋アライメントの調整
- 3 統合張力膜の調整 脳硬膜:大脳鎌、小脳鎌、小脳テント、脊髄硬膜

【頭蓋のアプローチでの変化】

- 1 頭蓋骨の可動域拡大
- 2 頭蓋仙骨リズムの改善
- 3 硬膜の緊張緩和による静脈循環と神経拘束の改善
- 4 深部体温の改善

【頭蓋仙骨療法による効果】

- 1 脳血流、脳の栄養状態改善
- 2 脳圧の減少
- 3 意識や覚醒、学習効果向上
- 4 深部体温上昇→酵素の活性化→ホメオスタシス正常化→自然治癒力向上

【頭蓋仙骨療法による効果 1】

- 1 脳血流、脳の栄養状態改善
- 2 脳圧の減少
- 3 意識や覚醒、学習効果
- 4 深部体温上昇→酵素の活性化→ホメオスタシス正常化→自然治癒力の向上

【頭蓋仙骨療法による効果 2】

- 1 自律神経、ホルモンバランスの改善
- 2 中枢、末梢神経症状の改善
- 3 慢性疼痛、痺れ、耳なり、頭痛、めまいなどの改善
- 4 眼圧の正常化、視野や慢性疲労の改善
- 5 呼吸機能の改善

【頭蓋仙骨療法の禁忌】

- 1 頭蓋内出血(急性期)
- 2 動脈瘤
- 3 動脈奇形
- 4 延髄ヘルニア
- 5 頭蓋骨骨折
- 6 急性全身感染

【脳脊髄液の流れについて】

産出:側脳室、第 3 脳室、第 4 脳室の脈絡

側脳室→モンロー孔→第 3 脳室→第 4 脳室→マジャンディー孔→ルシユカ孔→くも膜下孔 →くも膜下腔

吸収:静脈(上下矢静脈洞、直静脈洞、横静脈洞)、外側裂孔のくも膜顆粒

【脳脊髄液について】 特徴

・1 日 3~5 回入れ替わる ・全 130m

役割

- ・ 中枢神経の緩衝作用
- ・ 中枢神経の栄養
- ・ 神経伝達
- ・ 自然治癒能力

【頭蓋仙骨リズム】

- ・1 次呼吸とも呼ばれる
- ・1 分間に 6~13 回のサイクル
- ・1 サイクルは屈曲相(呼出期)と伸展相(吸収期)からなる

屈曲相:頭蓋骨の左右が拡大、仙骨後傾、下肢外旋

伸展相:頭蓋骨の前後が拡大、仙骨前傾、下肢内旋

【硬膜による頭蓋骨と仙骨のつながり】

特徴

脳硬膜→大後頭孔(後頭骨~第 2, 3 頸椎にも付着)→第 2 仙椎まで

【縫合の理解】

- ・ 冠状縫合
- ・ ラムダ縫合
- ・ 矢状縫合
- ・ 鱗状縫合

【頭蓋仙骨テクニック治療のコツ】

- ・ 頭蓋骨の解剖イメージ
- ・ 頭蓋仙骨リズムに同調
- ・ 頭蓋骨に動きを感じる

- ・骨でタッチ
- ・相手へエネルギーを伝えるパイプ役になる
- ・身体を緩ませる、姿勢、身体操法

【頭蓋骨と内臓の関係】

- 1 前頭骨:肝臓(左右)
- 2 側頭骨:腎臓(左右)
- 3 後頭骨:脾臓(左)小腸(右)
- 4 頭頂骨:副腎、子宮
- 5 頬骨:膵臓(膵尾→右 膵頭→左)
- 6 上顎骨:肺
- 7 蝶形骨:心臓(右は横隔膜付近)

【最後に】

資料の解説も動画で話しておりますので、ぜひご覧ください... 頭蓋治療は習得が難しいので日々1次呼吸を感じるところから感じていきましょう。